

令和3年度科学の甲子園ジュニア大分県大会 結果

目的

- ・未知の分野に挑戦する探究心や創造性の育成
- ・互いの良さを生かして協働する力の育成
- ・将来の大分を支える人材育成

期日 場所

1次予選:令和2年 8月4日(水)
別府国際コンベンションセンター
2次予選:令和2年10月2日(土)
大分県教育センター

1次予選

■筆記競技

- ・1チーム6人で協働して取り組み、課題を解決する。問題は、理科・数学等に関する問題

■講演

「私が歩んできた道」～アフリカにおける稲作支援～〈講師〉元JICA専門科 坪井 達史 氏

2次予選

■実技競技 カプセルレースチャレンジ

- ・A4用紙のみを使って「落下物を安全に着地させられる構造」を作成する。
- ・構造物の上におもりの入ったカプセルを投下し、投下したカプセルが、床面から20cmの高さにキープできていれば、成功となり得点を与えられる。
- ・カプセルに入れるおもりが重いほど、投下させる高さが高いほど得点が高い。また、使用した紙の枚数が少ないほど得点が高い。

■講演

「科学と世界のおもしろい人達のクイズ選手権2021秋」

〈講師〉京都大学 物質-細胞統合システム拠点 特定助教 樋口 雅一 氏

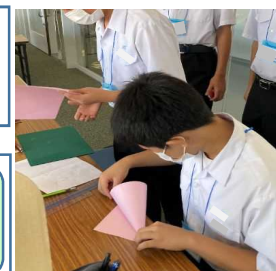
- ・1人1台のタブレットを活用したクイズ形式の講演会を実施



参加

出場校(13校30チーム 180名参加)

附属中・野津中・向陽中・豊府中・別府青山中・別府中部中・別府西中・城東中・明野中・大東中・戸次中・碩田学園・植田南中 ※下線は2次予選進出校



結果

- 1位(最優秀賞) 向陽中学校B(全国大会出場)
2位(優秀賞) 大分大学教育学部附属中学校A
3位(優良賞) 大分豊府中学校B

全国大会
期日 12月3日(金)～5日(日)
場所 兵庫県姫路市

生徒感想

・仲間と一緒に色々なものを作り、親睦を深めることができた。講演会もこれからの自分の人生に大きく役に立つと思う。参加して良かった。

・何人かで協力して問題を解いたり、ものを作ったりする体験があまりなかったので、はじめは不安だった。けれど、やってみるとすごく楽しくて、協力して何か1つのものを成し遂げるってこんなにいいことなんだと学べた。

・難しかったけど、成功するととても達成感があるので楽しかった。また来年頑張りたい。

・実技競技では、チームで協力することの楽しさ、重要さ、目標を達成した時の達成感や嬉しさを学べた。講演では、学ぶだけでなく行動する「知行同一」という言葉から、行動することの重要性を学んだ

・樋口先生の講演を聞いて、ノーベル賞の話や生物、化学、物理学など、いろんな知識を教えてもらったし、クイズなどをして楽しかった。

・みんなで1つのことに向かって取り組むことが「こんなにも楽しいのか」と思った。実技競技が成功した時は、思わず「よし！」と声が出てしまった。もっと科学について知りたいなと思った。

・樋口先生の講演がとても参考になったので、またお話が聞きたい。「起業」、「人の役に立つ」、「ニーズを必要とするもの」をつくりたい。

